

取り組み名 地球温暖化ストップで地球に優しい街づくり

# エコでにぎわう商店街。

お客からエコマネーで買った生ごみで有機野菜を育て、人気商品に。  
みんなが得するエコ商店街。

エコマネーで買った生ごみで有機野菜を育て、人気商品に。  
みんなが得するエコ商店街。

厚木なかちょう大通り商店街振興組合では、商店街に設置した「エコステーション」に、会員が生ごみを持ち込むと、100グラムにつき1ポイント(1円相当)をポイントカードに加算する仕組みを構築。生ごみは堆肥にして契約農家で有機野菜「なかちょう野菜」ブランドを栽培し、商店街で販売しています。風力と太陽光のハイブリッド街路灯、空き缶・ペットボトルの回収機も設置する、先進的な取り組みで知られる「エコ商店街」です。



団体名:厚木なかちょう大通り商店街振興組合  
所在地:神奈川県厚木市  
ウェブサイト:<http://www.nakachou.or.jp/>

地域から出た生ごみを商店街の「エコステーション」で回収して堆肥にし、有機野菜を作って販売するという循環の輪を構築。

都道府県大会の名称

ストップ温暖化「一村一品・知恵の環づくり」in神奈川

取り組み名 生ごみを土に戻して「ストップ温暖化!」

# 生ごみは、土に返せば、ごみじゃない。

街中の家庭の生ごみで、いい土づくり。  
ごみ焼却のCO<sub>2</sub>も減った、市民リサイクルです。

生ごみを土に戻して「ストップ温暖化!」

長岡生ごみ培養土循環システム協議会は、長岡市・越路地域300世帯と協力し、生ごみを燃やさずに土に戻す取り組みを行っています。生ごみに培養土を薄くかけ、さらに生ごみを乗せ、とサンドイッチ状にしていくと、生ごみは「臭わない、汚汁がでない、虫がわかない」方法で土に還すことができます。開始当初、8世帯だった協力世帯は2年で現在の規模まで拡大。越路地域での全面展開、4,000世帯の参加を目標にしています。



各家庭で「一次処理」した生ごみを130リットル入りの大型バケツに投入して「二次処理」。

協力世帯では、バケツと培養土を用意。生ごみと培養土をサンドイッチ状に重ねて「一次処理」する。

団体名:長岡生ごみ培養土循環システム協議会  
(ながおかバケツの会)  
所在地:新潟県長岡市  
ウェブサイト:<http://www3.plala.or.jp/eco-baketsu/>

都道府県大会の名称

越佐発 温暖化防止はじめる一歩